

開催報告

第 5 回九州 C T 研究会、第 5 回九州 C T フォーラムは循環器領域の心臓 CT をテーマに開催致しました。

例年を大幅に上回った過去最大 390 名の参加を得て、盛会に終了することができました。九州地区における単独モダリティー研究会の参加者数としては驚異的であり、C T 検査に対する関心の高さが伺えました。

関係各位、参加者の皆様には感謝申し上げますと共に、我々も皆様の期待にこたえるよう更なる努力が必要と感じております。

第 5 回九州 CT フォーラムでは、メーカーによる CT 装置の最新技術に関して、シーメンスジャパン、日立メディコ、フィリップス、東芝メディカルシステムズの 4 社の方々にご講演頂きました。また、基礎講演では北海道社会保険病院の山口先生に心臓 CT の基礎から最新の臨床情報まで多くの情報をご講義いただいた。心臓 CT の需要は治療支援としても幅広くなってきており、Surgical View や CTO 病変の描出手法、TAVI 等の手術支援等についての取り組みや、新しい造影法である Test Bolus Trucking(TBT)法の詳細も学ぶことができました。

第 5 回九州 CT 研究会の研究会企画においては、初の試みとして「技師による心臓画像解析」を 4 施設の技師の方々にライブでワークステーション操作をしていただきました。より実践に近い形でご覧いただけたのではないかと考えております。ニーズが多ければ今後も他領域の解析に関しても検討していきたいと考えております。

また、一般発表や奨励研究発表におきましても、九州地区でご活躍の方々にご発表いただき、活発な意見交換が行われました。

次年度の第 6 回も精力的に開催準備を行い、参加者にとって大きな収穫のある研究会にしていきたいと思っておりますので、ご支援、ご協力のほど宜しくお願い致します。

第 5 回九州 C T 研究会、第 5 回九州 C T フォーラム

当番世話人 済生会熊本病院 坂本崇